[池高 TIMES Vol. 6]

令和元年 12 月 10 日発行

～池新田高校は創立 100 周年～

●創立 100 周年記念式典を挙行しました

11 月 13 日（水）、秋晴れのさわやかな日に、池高創立 100 周年記念式典を御前崎市民会館にて挙行しました。多くの御来賓、同窓生の皆様がお越しになり、会場はほぼ満席でした。前日からの準備では、美術部顧問の村井先生を中心にロビーの装飾を行い、会場に彩を添えてくれました。当日は華道部が生花を展示し、茶道部で御来賓にお茶をお出ししました。運動部が中心となり駐車場誘導、受付、会場案内をし、皆でお客様をお迎えしました。

◆第１部「記念式典」

第 1 部の記念式典は、落ち着いた雰囲気で始まりました。国歌斉唱の後、赤堀吉史同窓会長の挨拶では、「この式典は 100 年のゴールであるとともに次の 100 年のスタートになります。地域社会で存在感のある高校となることを期待します」と話されました。続いて牧田恵校長が式辞を述べ、「生徒の皆さんは、多くの先輩方の努力によって発展してきた池高で学んでいることに感謝と誇りを持ち、地域の皆さんからの熱い思いを感じ取ってください」と話されました。続いて木苗直秀静岡県教育長が「100 年にわたり、地元御前崎をはじめ地域社会に有為な人材を送り出してきたことに感謝いたします」と、柳澤重夫市長が「御前崎市唯一の高校である池高が、新たな伝統を築いていかれることを祈念いたします」と祝辞を述べられました。最後に、柴田雄人生徒会長(22HR)が「池高生の力を集め、今まで以上に地域に愛され、頼りにされる池新田高校となるよう、生徒が力を合わせて取り組んでいきます」と力強く宣言しました。

◆第２部「記念講演：ゴルゴ松本氏『命の授業』」

休憩の後はゴルゴ松本さんの講演「命の授業」が行われました。冒頭で「100 周年おめでとうございます。祝うという字は、『しめすへん(礻)』に『あに(兄)』！」と、いつもの体を使った漢字表現パフォーマンスで、この日をお祝いしてくれました。ゴルゴさんは漢字に話題を求めながら、テンポよく分かりやすい言葉で講演を続けられました。「“**本**”という字は、木がしっかり地面に生えていること(もと)を表しています。基**本**、手**本**、見**本**を大人たちは子どもに見せなきゃいけない。

それは**本**当のことでなきゃいけない、**本**物でなきゃいけない。それが根**本**にならなきゃいけない…」　次々とホワイトボードに漢字を書きながら、私たちに大切なこと、忘れてはいけないことを、笑いを交えながら熱く語ってくれました。テレビで知るお笑いのゴルゴさんとは一味違った姿を知ることができました。

◆第３部「生徒・同窓生による発表『100 年の想いを未来へ』」

式典のフィナーレは、生徒と同窓生によるステージ発表「100 年の想いを未来へ」です。司会の生徒会・井上優奈さん(22HR)と加藤舞大さん(22HR)が、池高 100 年のトピックスを語ると同時に、生徒会が作成した映像をスクリーンに映し、皆で池高 100 年の発展を振り返りました。続いて、同窓生でテノール歌手の石原久章さんに登場いただき、石原さんの高校時代のことをお話しいただきました。そして最近は歌われなくなってしまった池高の「応援歌１」を、吹奏楽部の伴奏のもと披露していただきました。そして、今まで忘れ去られていて、同窓生ですら知らないという幻の「応援歌２」に、このほど音楽の村松達彦先生が新たにメロディーをつけ、音楽選択の生徒と吹奏楽部によって、初披露しました。応援歌１は伝統の遺産、応援歌２は未来への遺産として、歌い続けていきたいと思います。最後に会場の皆さんと校歌を声高らかに歌い、閉式となりました。

最後になりますが、創立以来 100 年にわたりまして、皆様からの御支援御協力を賜わり、誠にありがとうございました。次の 100 年も皆様から信頼され愛される学校となるよう、努力してまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

●お問い合わせ　〒437-1612 静岡県御前崎市池新田 2907-1　|　TEL: [0537-86-2460]　|　FAX:[0537-86-7802]